

高齢者の運転を考える

それぞれの車との付き合い方



無事故無違反で運転を続ける人

事故は一瞬の油断で起こるという怖さを自覚して、これからも安全運転を続けたい。

比奈知 松崎 宗代さん（74 歳）

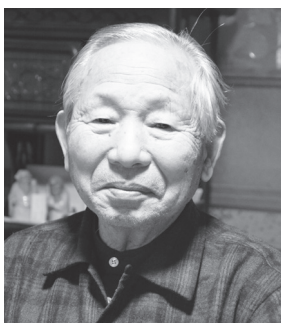
これまで交通安全協会の役員の一人として活動が続けてきた者としては、自分は事故を起こしてはならないという気持ちで安全運転を心掛け運転を続けて行きたいと思います。

特に気を付けているのは速度です。制限速度を守り、ゆっくり走るようにしています。ときどき後ろからあおられますが、そんなときは、脇に車を止めて道を譲るようにしています。急いだとしても、目的地に着く時間はそんなに変わらないと思うのです。

長年運転を続けている中で、事故が起こりやすい場面が分かってきました。例えば交差点で右折するとき、対向する直進車が来ている場面です。まだ距離があると判断して、右折しようと思ったら、対抗する直進車が思った以上にスピードが出ていてヒヤッとすることがあります。だから、右折しても大丈夫だろうではな

く、右折できないかもしれないと慎重に運転しています。逆に、こちらが直進で優先の場合でも、無理に右折をする人がいると思って譲ってあげるぐらいの気持ちも必要だと思います。

事故は一瞬。ちょっとした油断や判断の遅れが事故につながります。高齢者運転の事故が多い中、50年余りの無事故の経験を生かして、これからも安全運転を第一に心掛け、運転を続けていきたいと思っています。



85歳で免許を自主返納した人

身内や地元の知り合いに助けをもらいながら、満足した暮らしをしています。

滝之原 松生 安雄さん（86 歳）

車の運転は、25歳の頃から60年ぐらい続けてきましたが、昨年11月、85歳のときに、免許を自主返納しました。

きっかけは、免許更新の時期が来ていたことです。更新時の検査の結果を受けて、運転を続けるかどうかを家族で話をしました。

もう一つは、乗っていた車の買い替えの時期が来ていたことです。今、販売されている車は、オートマチック車ばかりです。長年ミッション車に乗ってきた私には、不慣れなオートマチック車の運転に不安がありました。

そうしたことを考えて、免許を自主返納することにしました。本当は車の運転が好きだから続けたかったのですが、周囲も助けてくれると言ってくれたので、安全のことを第一に考えました。

運転をやめて約2カ月が経ちました。病

院や買い物に行きたいと思ってもすぐに行けず、車があればと思う場面もあります。

しかし、息子が予定を合わせて一緒に買い物に行ってくれたり、趣味の民謡や写真撮影の仲間たちが車を出してくれたりするので、自分がやりたいことができ満足した暮らしを送っています。



▲ 免許を返納したときにもらったという運転経歴証明書

高齢運転者の対策 道路交通法が 改正されます



名張警察署
別所 信博さん

運転に必要な記憶力や判断力の低下のリスクが高い75歳以上の運転者に、安全運転支援を行えるようにするため、3月12日から改正します。

改正ポイント1 「臨時認知機能検査」



75歳以上の運転者は、3年に1度の運転免許更新時以外にも、信号無視など一定の違反をした場合は、「認知機能検査」が義務付けられます。

改正ポイント2 「臨時高齢者講習」

前回より、認知機能の低下が運転に影響するおそれがあると判断された場合、実車指導や個別指導の「臨時高齢者講習」を受けなければなりません。



改正ポイント3 「臨時適性検査」



認知機能検査で認知症のおそれがあると判断された場合、違反の有無を問わず医師の診断を受けなければなりません。

医師の診断の結果、認知症と判断された場合は、公安委員会が行う運転免許の取消しなどの対象となります。

自主返納を応援して安心をサポート

3月1日
スタート

運転免許を返納した人は バス運賃が半額に

「運転経歴証明書」をご提示いただくだけで
ご本人+ご家族・友人など同伴者1人も半額
詳しくは、問い合わせ先へ

☎ 三重交通伊賀営業所 ☎ 66・3715

※交通事故防止の観点から、運転免許証の
自主返納を応援します。